

菜種油粕で作る水稲有機栽培用の育苗培土の特徴

福島県農業総合センター 作物園芸部
平成18年度農業総合センター試験成績概要

1 部門名

水稲 - 水稲 - 育苗
分類コード 01-01-06000000

2 担当者

鈴木幸雄・島宗知行

3 要旨

菜種油粕で作る水稲の育苗培土を使用する場合、保管中にできる「こごり」を床土入れ前に取り除いておく。また、床土の白カビ多発を防ぐため床土入れは播種直前に行う。

- (1) 菜種油粕で作る育苗培土は、保管中に菌糸と土の固まり「こごり」ができ床土入れ作業の障害となるので、作業前に「こごり」を砕くか取り除いておく。
- (2) また、菜種油粕で作る育苗培土は、床土入れから播種まで間隔を空けると白カビが多発し播種時の吸水が阻害されることがあるので、床土入れを播種直前に行う。
- (3) 播種後、床土表面に発生した白カビは、かん水やプール育苗の湛水により消失する。
- (4) 菜種油粕の育苗培土は、育苗初期の苗の葉色が淡いが徐々に濃くなり、市販の有機JAS規格培土(H社・K社)に比べて草丈が短く充実した苗が育苗できる。なお、H社の培土は、苗の草丈が伸びやすく葉色が濃く、K社の培土は、苗の草丈がやや伸び、葉色は中庸である。

4 その他の資料等

- (1) 平成17年度福島県参考となる成果「ナタネ粕を使用した水稲の育苗法」